



防災への心がけ

最近の自然災害は、想定を上回る規模になることが多く、日頃から近所や行政と連携しておくことも「自助」の一つだと思います。今月、町防災訓練が実施されます。皆さんも防災訓練に参加し、非常用備品等、身の周りを見直されてはいかがでしょうか。

民生委員・児童委員協議会から、高齢者のひとり暮らし世帯に対し防災袋をお配りしましたところ大変喜ばれています。

また、町から依頼を受けて、災害時要援護者に救急医療情報キットを順次お配りしています。

【民生委員・児童委員はいつもそばにいます】

人権 それは愛

問合せ／教育文化振興課 ☎990-9011
企画財政課 ☎991-1815

今月は「松伏町小・中学校人権作文集－第11集－」の作品の中から、小学校3年生の作品を紹介します。

やさしい友だち、ありがとう

わたしは、生まれた時から、アトピーでした。一年生になった時、わたしは心ばいでした。それは、夏になったら、ようふくは半そでで、わたしのアトピーのできてる所は、うでだからです。

わたしは、そのうでがすごくかゆくて、たくさんかいてしまうときがあります。だからうではがさがさで、時には、かきすぎて、ちがでてしまう時もあるのです。そのうでが見えてしまう半そでをきるのが、いやだったのです。一年生の夏になりました。すごくあつくなりました。本当は半そではいやだけど、きていきました。学校につきました。

「何か言われるかなあ。」

「はずかしいなあ。」

心ばいな気もちが、いっぱいになってきました。でも、みんなぜんぜん気にしていないようです。ほっとしました。友だちが言った言葉は、

「どうしたの。」

というやさしい言葉でした。わたしは、

「かゆくて、かいちゃったんだ。」

と答えました。

「大じょうぶ。」

と心ばいしてくれました。友だちのあたたかい気もちがつたわってきて、わたしの心の中にいっぱいだったふあんが、すうっとかかなくなっていきました。おにごっこの時、わたしのうでにタッチしても、みんなへい気です。あそんでいるうちに、わたしもうでのことが気にならなくなってきました。うれしかったです。半そでのようふくも、すきになりました。これからも、くすりをぬって、かゆい所をなおしていきたいと思います。

「やさしい友だち、ありがとう。」

今どは、わたしが、なやんでる友だちをたすけてあげられるようにしたいです。

この人権作文集は、児童・生徒のみなさんに、人権や差別について考えていただき、他人の心の痛みがわかる、差別のない・許さない・見のがさない人になってほしいと願って作成されています。